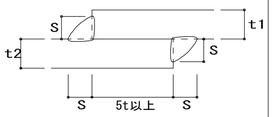
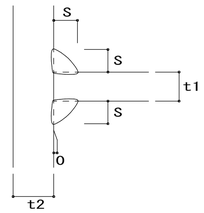
HF1



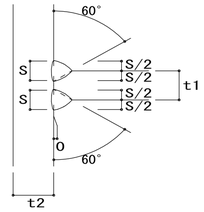
注） tはt1, t2の薄い方の板厚とする。

HF2

t≦16



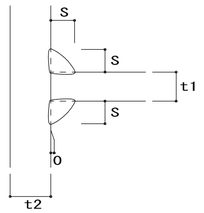
16＜t≦40



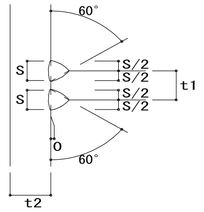
注） tはt1, t2の薄い方の板厚とする。

HFF2

t＜16



16≦t≦40



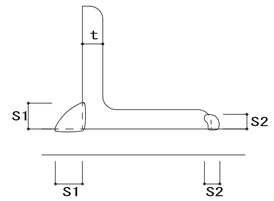
注） tはt1, t2の薄い方の板厚とする。

隅肉溶接のサイズ

サイズ ＼ t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
F	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	12	13	15	17	19	21	24
FF	−	−	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	15	18	20	21	23	25	27	29

注）特記なき場合は柱・梁仕口部の溶接は ＦＦ とする。

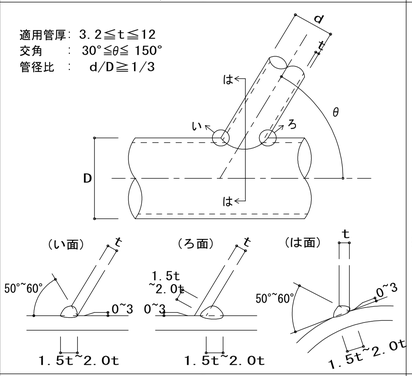
HFA 山形鋼と鋼板



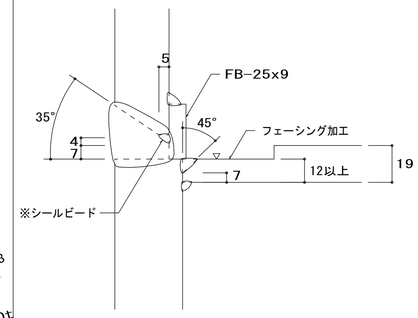
サイズ ＼ t	6	7	9	10	12	13
S1	8	10	14	14	17	17
S2	4	5	7	7	10	10

HFP 鋼管と鋼管

適用管厚： 3.2≦t≦12
交角 ： 30°≦θ≦ 150°
管径比 ： d/D≧1/3

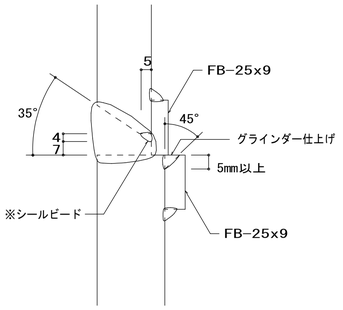


BPT 柱の現場溶接（溶接箱型断面、鋼管、角形鋼管）



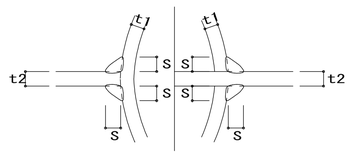
※監督職員の承諾を得て、シールビード無とすることができる

BPU 柱の現場溶接（鋼管、角形鋼管、H形鋼）



※監督職員の承諾を得て、シールビード無とすることができる

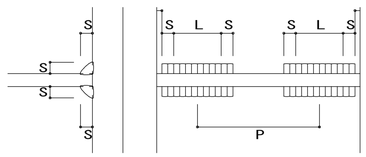
HFC 鋼管と鋼板



t1＞6	S=t1
4≦t1≦6	S=6

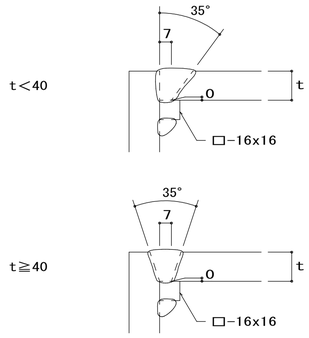
SHF2 L−P

注） サイズ(S)溶接長(L)および溶接ピッチ(P)は特記する。

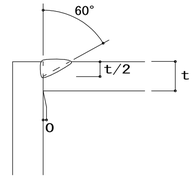


L＞10S かつ40mm以上

LB 溶接箱形柱(柱梁仕口部)

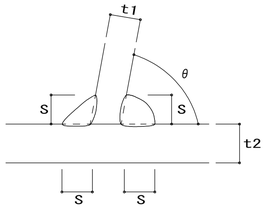


LP 溶接箱形柱(一般部)

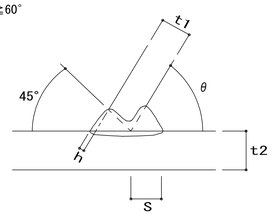


HF2K HFF2K

90°＞θ≧75°



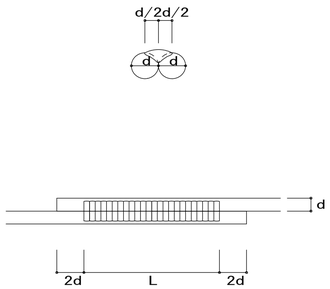
75°＞θ≧60°



h＞0

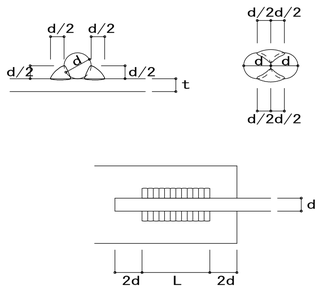
HFL1 棒鋼と棒鋼

注） Lは10dかつ100mm以上とする。

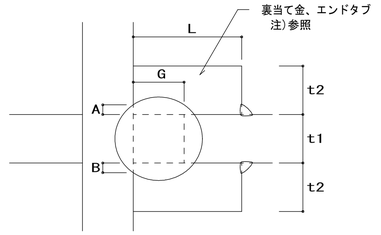


HFL2 棒鋼と棒鋼,鋼板

注） Lは5dかつ100mm以上とする。



ET エレクトロスラグ溶接



・A≧0mm かつ B≧0mm かつ A+B≧6mm

t1	t2	G	L
22~28	25	25	50
32~36	28		

裏当て金、エンドタブ

裏当て金の厚さ

溶接方法	厚さt(mm)
被覆アーク溶接	6以上
ガスシールドアーク溶接	9以上
サブマージアーク溶接	12以上

裏当て金のサイズ(S)

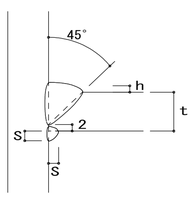
裏当て金の厚さ	サイズS(mm)
t≦9	6
t＞9	7

エンドタブの長さ

溶接方法	ℓs(mm)
被覆アーク溶接	35以上
ガスシールドアーク溶接	38以上
サブマージアーク溶接	150以上

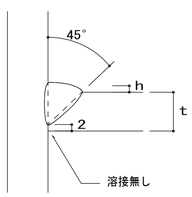
HP1

開断面の場合



S=6
2≦h

閉鎖断面の場合

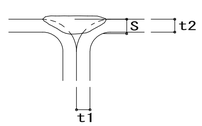


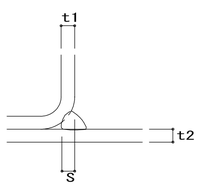
2≦h

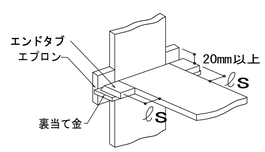
HFLC 軽量形鋼等

注） tはt1, t2の薄い方の板厚とする。

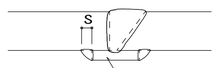
t≧3のとき ： S=t
t＜3のとき ： S=3

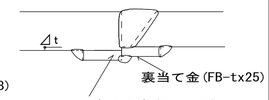


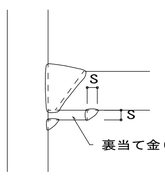




エンドタブ







注） 上記の裏当て金の厚さ，幅，サイズ，エンドタブの長さは参考とし、監督職員の承諾を得て変更することができるものとする。
裏当て金の材質は原則として母材と同等以上とする。
ただし、母材材質が520N級以上の場合は、監督職員と協議の上、490N級とすることが出来る。
BOX柱の角溶接をサブマージアーク溶接で行う場合のエンドタブの板厚、長さは別途、工場製作要領書に示し、監督職員の承諾を受けるものとする。

着工	平成 28年 6 25		
竣工	令和 元年 11 30		
監理			監理 日建・上田特定監理業務等共同企業体
施工			施工 大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体

注)1. 余盛高さは、特記なき限りＪＡＳＳ6による。

完成図 構-23

日建・上田特定設計委託業務
共同企業体

高知市都市建設部公共建築課						
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長	

高知市新庁舎建設工事

溶接開先基準図 (2)

構 23
3 −10

NO. 0−140004−B